

伊平屋村DX推進計画 行動計画

【前期：令和6年度から令和9年度】

令和7年1月
伊平屋村

はじめに

■ 伊平屋村DX推進計画 行動計画とは

伊平屋村DX推進計画は、「本編※1」と「行動計画」の2部構成となっています。行動計画は、本編で示された施策を具体化した取組とその目標などをまとめたものです。

※1 本編とは、計画のビジョンや目標、方針、考え方などを示したものです。

■ 行動計画の期間

行動計画は、伊平屋村DX推進計画の本編の期間※2 を踏まえ、令和6年度から令和9年度までの前期、令和10年度から令和13年度までの後期の、それぞれ4年間としています。

本行動計画は、前期のものとなります。

※2 本編の期間は、第5次伊平屋村総合計画の期間を踏まえ、令和6年度から令和13年度までの8年間としています。

■ 施策－取組 一覧【くらし】

施策	テーマ	取組ID	取組名	取組の内容
ICTやAIを活用した一人ひとりの個性と自主性を伸ばす教育環境の整備	教育	1-(1)-①	個別最適な学習を促進するデジタル技術活用環境の充実	児童・生徒の希望や個性に合わせた自主的な学びを促進するためのデジタル教材や情報通信環境の充実に図ります。
		1-(1)-②	デジタル技術を活用した教育体制の整備	デジタル技術を活用した教育の質の向上を図るため、教師が利用するICT機器を整備するとともに、研修を実施します。また、教師の負担を減らすと同時に、生徒と向き合う時間を増やすために、公務システムの整備と活用を推進します。ICT支援員の活用も検討します。
		1-(1)-③	キャリア教育の充実に向けた環境の整備	オンラインでの職業体験など、ICTを活用した新たな取組を取り入れたキャリア教育の充実に取り組みます。
情報活用能力を高める教育の推進	教育	1-(2)-①	情報活用能力向上に向けた教育プログラムの高度化	プログラミングの仕組みや情報活用に必要なモラルの学習だけでなく、課題に沿った情報収集・データ分析・生成AIの活用など実践的な情報活用能力の向上のため、教育プログラムの高度化に取り組みます。
		1-(2)-②	体験型プログラミング学習の推進	ロボットやドローン、コンピューターなどをプログラミングして現実世界の課題に取り組む経験を通して、デジタル技術活用への興味や意欲を醸成するため、体験型プログラミング学習を推進します。
デジタル技術を活用したグローバル人材育成の高度化	教育	1-(3)-①	ICTを活用した使える英語学習の推進	英語音声認識機能を搭載したサービスを活用した対話型英語学習を推進するなど、使える・通じる英語力を身につける教育に取り組みます。
		1-(3)-②	グローバル人材育成に向けたリモート交流の検討	グローバルに活躍する人材の育成に向けて、村外・海外の様々な人と触れ合う機会を増やすためのオンラインによる授業やリモート交流について検討します。
デジタル社会に対応した子育て支援体制の強化	子育て	1-(4)-①	SNSなどを活用した次世代・女性活躍支援室による子育て支援の強化	SNSなどを活用し、子育てやワーク・ライフ・バランスなどに関する情報提供を行うだけでなく、相談にも応じるなど、次世代・女性活躍支援室による子育て支援の強化に取り組みます。また、電子母子手帳など、快適で楽しい子育てにつながるサービスの提供についても検討します。
		1-(4)-②	リモートワークやオンライン通学ができる環境の整備	子育て移住など、子育て世代のUIターンを推進するため、関連施設において、高速通信回線やオンライン会議システムなどを含みリモートワークやオンライン通学に必要な環境を整備します。

■ 施策－取組 一覧【くらし】（つづき）

施策	テーマ	取組ID	取組名	取組の内容
歴史・文化資料のデジタルアーカイブ化の推進	歴史・文化	1-(5)-①	歴史民俗資料館の資料のデジタルアーカイブ化の推進	歴史・文化の保存、継承、そして発展を目的として、歴史民俗資料館の資料をデジタルアーカイブ化し、インターネット上で公開します。さらに、関連サイトとの連携を図り、資料の活用促進に取り組みます。
デジタル技術も活用した地域包括ケアの推進	福祉	1-(6)-①	デジタル技術も活用した地域ぐるみの見守り体制の構築	デジタル技術も活用して、独居の高齢者などの見守りを、地域をあげて確実かつ効率的に行う仕組みづくりに取り組みます。また、災害用の村内連絡網とのデータ連携も見据えながら、見守り対象者に関するデータの整備を行います。
	福祉	1-(6)-②	介護におけるデジタル技術やロボットの活用の検討	高齢者介護の拠点となるとらず園において、要介護者の安全性・満足度の維持・向上と、介護者の負担軽減を図るため、デジタル技術やロボットの活用を検討します。
デジタル化による離島医療の強化	医療	1-(7)-①	リモート診療の実現に向けた調査・検討	リモート診療の必要性に関して伊平屋村における現状調査を行うとともに、伊平屋村に適したリモート診療の在り方について調査・検討を行います。また、リモート診療について村民の理解を深めるため、リモート診療を体験できる実証実験の誘致に取り組みます。
	医療	1-(7)-②	オンライン服薬指導の実現に向けた調査・検討	住民の待ち時間短縮などの利便性向上や、伊平屋診療所の業務負担軽減のため、緊急でない薬の島外での処方およびオンライン服薬指導の実施に向けた調査・検討を行います。
	医療	1-(7)-③	健康データの蓄積・活用の推進	健康指導や診療時の判断に活用することで、村民の健康の維持向上を促進するため、村民の体重や血圧などの健康に関するデータの蓄積・活用の効果を村民に周知し、健康データ活用の気運を醸成します。
災害にも強い村内連絡網の構築	防災・減災	1-(8)-①	インターネットを活用した双方向の連絡体制の構築	災害時における情報収集だけでなく、システムに登録した個人の安否や救助の要否、避難所の状況などの情報を発信・共有可能な双方向の村内連絡体制を構築します。システムの導入にあたっては、実証実験などによる検証を行います。また、導入後は、災害時において十分機能するよう、平時でもこの連絡基盤を活用し、住民への浸透に取り組みます。
防災情報のデジタル化による備えの強化	防災・減災	1-(9)-①	観光の国際化も見据えたオンライン上の防災情報の更新と周知	地域防災計画の見直しや観光の国際化などに合わせてハザードマップや防災マニュアルなどについて見直しを行い、更新したものをインターネットで公開します。また、村民および観光客に対してこれらの情報の周知に取り組みます。

■ 施策－取組 一覧【産業】

施策	テーマ	取組ID	取組名	取組の内容
村をあげたDX推進支援体制の構築	DX推進	2-(1)-①	デジタル化/DXの気運醸成	伊平屋村の事業者へ、デジタル化やDXの必要性を啓蒙するセミナーを提供したり、デジタル技術の利便性や効果を体験する機会を提供するなどDXへの気運を醸成します。
		2-(1)-②	事業者のデジタル化/DXを支援する体制の構築	関連団体と連携し、伊平屋村の事業者に対し、デジタル化やDXを推進する際に活用できる支援制度についての情報提供や、補助金などへの申請を支援します。
キャッシュレスの推進	キャッシュレス	2-(2)-①	キャッシュレス決済導入の支援	キャッシュレス決済導入の意義やメリットなどを周知するため、インバウンドを含むキャッシュレス決済の動向や効果、伊平屋村の産業DXのビジョンなどについての周知・広報に取り組みます。
		2-(2)-②	キャッシュレス体験会の実施	キャッシュレスの効果を体感することで、村内事業者のキャッシュレス導入の気運醸成を図るため、祭りなどのイベントにおいてキャッシュレス体験会を実施します。
観光施設などの情報通信環境の整備	観光	2-(3)-①	【重複】公共施設や観光拠点・スポットにおける情報通信環境の整備・維持管理	公共施設や観光拠点・スポットを中心に、村内のWi-Fiスポットの整備を検討します。特に、災害時の拠点においてはWi-Fiを整備します。また、Wi-Fiが常時使用できるよう運用体制を見直します。
		2-(3)-②	【重複】ワーケーション施設などにおけるリモートワーク環境の整備	伊平屋村におけるワーケーションを促進するため、関連施設において、オンライン会議システムなどを含むリモートワーク環境を整備します。
伊平屋フェリーのオンライン予約・購入システムの構築	観光	2-(4)-①	観光客向けオンライン予約・購入システムの強化	令和5年度に構築した観光客向けオンライン予約・購入システムに機能を追加し、観光客がいつでもどこでも伊平屋フェリーの予約が可能で、港のターミナルの窓口へ寄らずに乗船できるオンライン予約・購入システムを強化します。
		2-(4)-②	住民向けオンライン予約・購入システムの充実	村民割引など、乗客を識別したうえで、その属性に合わせた料金・サービスを適用する機能に加え、利便性向上のための機能追加や顧客の対象を拡大することで、システムの充実を図ります。
		2-(4)-③	車両乗船のための予約・購入システムの構築	車両を伊平屋フェリーに乗船させる際に必要な予約をオンラインでできる機能を、オンライン予約・購入システムに追加します。

■ 施策－取組 一覧【産業】（つづき）

施策	テーマ	取組ID	取組名	取組の内容
観光関連データプラットフォームの構築	観光	2-(5)-①	観光関連データプラットフォームの構築と利活用の促進	伊平屋フェリーの予約・乗客データをリアルタイムで収集し、村内事業者にオンラインで提供するシステムをはじめ、観光関連データプラットフォームを継続的に構築します。また、関連データを可視化したダッシュボードを構築するなど村内事業者の観光関連データ活用を促進します。
スマート農林水産業化の支援	農林水産業	2-(6)-①	農林水産業におけるスマート化の奨励・支援	農林水産業における、作業の自動化や効率化、省電力化、データ活用に向けたデジタル技術の導入を奨励・支援します。
新たなマーケティング手法の活用の推進	村産品販売	2-(7)-①	訪問客の隙間時間などを利用したマーケティング手法の検討	フェリー乗船時など訪問客の隙間時間を利用した新たなマーケティング手法について検討・検証します。
		2-(7)-②	新たなマーケティング手法に関するセミナーの提供	SNSなどの新たなメディアを用いて、顧客のニーズや行動をつかむための方法に関するセミナーなどを提供します。
観光産業を中心とした村内経済循環の活性化	村内経済循環	2-(8)-①	観光を中心とした全産業DXの推進	伊平屋村のデジタル技術を活用した産業振興の戦略的イメージである伊平屋村の産業DXのビジョンについての周知・広報に取り組むとともに、全産業の生産力を高めるため、事業者のデジタル化やDXへの気運醸成に取り組めます。
		2-(8)-②	観光スポットなどへの配送システムの検討	地元産品などの新たな消費を喚起するため、米崎キャンプ場をはじめとする観光スポットなどへの食材・物資を配送するシステムについて検討・検証します。

■ 施策一取組 一覧【行政】

施策	テーマ	取組ID	取組名	取組の内容
行政手続きのオンライン化	オンライン 手続き	3-(1)-①	オンライン行政手続きの整備と 利用の促進	「国民の利便性向上に資する手続き」をはじめ、利用者のニーズに基づき順次行政手続きのオンライン化に取り組みます。また、オンライン手続きのメリットなどの周知に加え、申請サポートを設けるなど、全ての人がオンライン行政手続きを活用できるように取り組みます。
		3-(1)-②	公金収納におけるeLTAXの 活用の検討	国が、地方公共団体の税金以外の公金の収納においてeLTAXの活用を推進していることを踏まえ、その動向や利用者のニーズに基づき、今後、伊平屋村における公金収納においてもeLTAXの活用を検討します。
マイナンバーカードの普及 および利用の推進	マイ ナンバー カード	3-(2)-①	健康保険証廃止に伴うマイナン バーカードの普及と利用の推進	健康保険証廃止に伴うマイナンバーカード取得の必要性の周知などにより、マイナンバーカードの普及に取り組みます。また、保険証としてのマイナンバーカード利用体験会などを開催し、マイナンバーカード利用の促進に取り組みます。
		3-(2)-②	マイナンバーカードを利用する サービスの拡充	村民向け伊平屋フェリー予約・購入システムなど、多様なサービスにマイナンバーカードを利用して、その魅力を高めることで、マイナンバーカードの利用を促進します。
情報システムの標準化・ 共通化	標準化・ 共通化	3-(3)-①	標準準拠システムへの移行	2025年度（令和7年度）内に標準準拠システムへの移行を完了します。それに合わせて、円滑な移行を行うため、システムに合わせた業務の標準化および職員の研修を行うなどの準備に取り組みます。
業務プロセスのDXの推進と DX推進体制の構築	業務 プロセスの DX	3-(4)-①	ペーパーレス化の推進	業務のデジタル化による利便性向上や効率化、経費削減に向けて、紙に基づく業務プロセスやルールを見直し、ペーパーレス化を推進します。村議会においては、タブレットを導入してペーパーレス化を実現します。
		3-(4)-②	業務プロセスのDXの推進	現行の業務について棚卸し、業務プロセスと業務量について調査します。その調査結果から、再構築すべき業務や必要なデジタル機器およびその効果、最適な業務体制、取り組む優先順位などを検討します。この検討結果に沿って業務プロセスのデジタル化と業務体制の最適化に取り組みます。
		3-(4)-③	DX推進体制の構築	業務プロセスの最適化や部署を越えた連携を推進するため、庁内をあげた行政DX推進体制を構築します。体制の構築にあたっては、各課にDX推進担当を置き、ITパスポート試験の取得を進めます。また、職員の育成だけでなく、デジタル技術の活用のノウハウを持つ外部人材の活用も検討します。

■ 施策－取組 一覧【行政】（つづき）

施策	テーマ	取組ID	取組名	取組の内容
AIやICTの効果的な活用の検討	AI/ICT活用	3-(5)-①	利用者の利便性向上に向けたAIやICT活用の推進	業務プロセスの見直しや情報システムの標準化・共通化を念頭に、国が提供するガイドブックを参照して、AI、RPAなどの導入を検討します。生成AIについては、安全かつ効果的な活用法について、国の資料も参照しながら組織的に検証します。
テレワークの推進	テレワーク	3-(6)-①	テレワーク環境の整備	リモートワークが可能なように、モバイルPC、無線通信環境や通信用携帯電話などのハード面の整備と、運用におけるコミュニケーション方法や情報セキュリティポリシーなどのソフト面の整備を行います。
データ活用の推進	データ活用	3-(7)-①	ウェルビーイング（地域幸福度）指標に基づくDXの推進	伊平屋村のありたい将来の実現に向けて効果的に取り組むため、村民のウェルビーイング（地域幸福度）指標について調査し、その指標に基づきDXの推進に取り組みます。
		3-(7)-②	村役場が所有する各種データの整備	村役場が所有する、個別に作成された住民データの紐づけなど、有機的なデータ活用が可能なようデータの整備を行います。
		3-(7)-③	オープンデータの整備	オープンデータの公開を推進します。特に、自治体標準データセットについては優先的に公開していきます。
セキュリティ対策の徹底	セキュリティ	3-(8)-①	情報セキュリティ体制の強化	インシデント発生時の対応を担うCSIRTの体制強化と、情報セキュリティ監査を定期的実施することで、庁内の情報セキュリティの強化に取り組みます。
		3-(8)-②	情報セキュリティと個人情報保護の徹底に向けた職員研修の実施	情報セキュリティや個人情報保護に関する知識や、インシデントの際の対応について、職員に研修を行います。
		3-(8)-③	業務継続計画の適宜見直し	標準準拠システムへの移行や、テレワークなど業務体制の変更に合わせて、適宜業務継続計画の見直しを行います。
誰一人取り残さないデジタル技術活用の推進	デジタルデバイス対策	3-(9)-①	デジタル機器・サービスの利用法を学ぶ機会の提供	デジタル技術活用の恩恵を実感することで、デジタル技術についての自主的な学びと活用を促すため、高齢者や障がい者を含むデジタル技術に不慣れな方を対象に、スマートフォンやフェリー予約システムなどのアプリの使い方を学ぶ勉強会を開催します。また、ニーズに応じて、普及している機器やサービスの体験教室などを開催することで、その利用法や利便性を学ぶ機会を提供します。
		3-(9)-②	デジタル活用サポーターの設置	デジタル活用支援のため、スマホの普及促進や、普及しているデジタル機材・サービスなどについての相談や助言を行うサポーターを設置します。

■ 施策一取組 一覧【地域】

施策	テーマ	取組ID	取組名	取組の内容
情報通信基盤の強化	情報通信基盤	4-(1)-①	全島にわたる高速通信網の整備についての検討	全島における情報通信基盤の維持管理をするとともに、都市部と同等の活動ができる光ファイバー網など高速通信網の整備について検討します。
		4-(1)-②	【重複】公共施設や観光拠点・スポットにおける情報通信環境の整備・維持管理	公共施設や観光拠点・スポットを中心に、村内のWi-Fiスポットの整備を検討します。特に、災害時の拠点においてはWi-Fi環境を強化します。また、Wi-Fiが常時使用できるよう運用体制を見直します。
		4-(1)-③	【重複】ワーケーション施設などにおけるリモートワーク環境の整備	伊平屋村におけるワーケーションを促進するため、関連施設において、オンライン会議システムなどを含みリモートワーク環境を整備します。
ライドシェア導入の検討	交通インフラ	4-(2)-①	持続可能なライドシェアサービスの検討	持続可能なライドシェアサービスを構築するため、島内の移動需要について調査を行い、村内事業者とも協力して、採算性および予約システムも含めたサービス内容について検討します。
伊平屋村の魅力を伝える情報発信体制の強化	情報発信体制	4-(3)-①	地域情報発信チームの強化	地域情報発信チームの、伊平屋村の情報や移住・交流・関係人口に関するニーズなどの情報を収集する能力を強化します。また、移住者・観光客などのニーズに合わせて地域の魅力や特産品、サービスなどに関する情報を戦略的に発信したり、伊平屋村をブランディングしたりする能力の強化を図ります。
		4-(3)-②	ターゲットを想定した戦略的な情報発信	伊平屋村の現状や観光客の特性を考慮して、情報を伝えたい相手の人物像を明確にします。そのうえで、その人物像に適した情報やSNSなどのメディアを選ぶことで、的を絞った効果的な情報発信を行います。
区民活動のデジタル化の促進	コミュニティ	4-(4)-①	区民の交流と連携を促進する連絡網の構築	区民活動における交流と連携を円滑化するため、SNSやオンライン会議などを活用した連絡網を構築します。連絡網の構築には、村内連絡網の活用も検討します。
デジタル人材の育成・確保	人材育成・確保	4-(5)-①	住民や事業者のデジタルリテシーの向上	伊平屋村のDX推進による住民の利便性向上や村内経済の活性化に向け、住民や事業者のデジタルリテラシーを向上するため、住民や事業者に対してデジタルリテラシー向上のためのセミナー・勉強会などを提供します。
		4-(5)-②	村役場におけるデジタル人材の育成・確保	村役場における利便性向上や伊平屋村のDX推進のため、デジタル技術やデータの活用方法を習得するための研修を行うとともに、外部デジタル人材の活用を推進します。

■ 取組 スケジュール【くらし】

施策	取組ID	取組名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ICTやAIを活用した一人ひとりの個性と自主性を伸ばす教育環境の整備	1-(1)-①	個別最適な学習を促進するデジタル技術活用環境の充実			必要に応じたデジタル教材や情報通信環境の拡充	
	1-(1)-②	デジタル技術を活用した教育体制の整備			教職員のICT機材の整備とICTを活用した教育に関する研修の実施	
	1-(1)-③	キャリア教育の充実に向けた環境の整備			環境の整備	保守・運用
情報活用能力を高める教育の推進	1-(2)-①	情報活用能力向上に向けた教育プログラムの高度化			プログラムの開発と継続的な改善	
	1-(2)-②	体験型プログラミング学習の推進			学習コンテンツの開発と実施	
デジタル技術を活用したグローバル人材育成の高度化	1-(3)-①	ICTを活用した使える英語学習の推進			必要な教材・サービスの整備と運用の継続的な改善	
	1-(3)-②	グローバル人材育成に向けたリモート交流の検討			リモート交流の検討と推進	
デジタル社会に対応した子育て支援体制の強化	1-(4)-①	SNSなどを活用した次世代・女性活躍支援室による子育て支援の強化			ネットワークの形成と支援の拡充	
	1-(4)-②	リモートワークやオンライン通学ができる環境の整備			必要な環境や周知方法の検討	環境整備とプロモーションの実施
歴史・文化資料のデジタルアーカイブ化の推進	1-(5)-①	歴史民俗資料館の資料のデジタルアーカイブ化の推進			歴史民俗資料館の資料の整理とデジタルアーカイブ化	

■ 取組 スケジュール【くらし】(つづき)

施策	取組ID	取組名	令和6年度				令和7年度	令和8年度	令和9年度
デジタル技術も活用した 地域包括ケアの推進	1-(6)-①	デジタル技術も活用した地域ぐるみの 見守り体制の構築					見守り体制の検討	見守り体制の構築	
	1-(6)-②	介護におけるデジタル技術やロボットの 活用の検討					介護におけるデジタル技術やロボットの活用の検討		
デジタル化による離島医療の 強化	1-(7)-①	リモート診療の実現に向けた調査・検討					リモート診療の実現に向けた調査		
	1-(7)-②	オンライン服薬指導の実現に向けた 調査・検討					調査・検討・実施		
	1-(7)-③	健康データの蓄積・活用の推進					健康データ活用効果の周知。データ活用の気運醸成。		
災害にも強い村内連絡網の 構築	1-(8)-①	インターネットを活用した双方向の 連絡体制の構築					連絡体制の検討と構築		
防災情報のデジタル化による 備えの強化	1-(9)-①	観光の国際化も見据えたオンライン上の 防災情報の更新と周知					防災情報の更新と周知		

■ 取組 スケジュール【産業】

施策	取組ID	取組名	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
村をあげたDX推進支援体制の構築	2-(1)-①	デジタル化/DXの気運醸成			デジタル化/DXに関するセミナー/勉強会やデジタル技術の利便性や効果を体験する機会の提供					
	2-(1)-②	事業者のデジタル化/DXを支援する体制の構築			関連団体と連携した支援体制の構築					
キャッシュレスの推進	2-(2)-①	キャッシュレス決済導入の支援			セミナー・勉強会の開催					
	2-(2)-②	キャッシュレス体験会の実施				体験会の企画・実施				
観光施設などの情報通信環境の整備	2-(3)-①	【重複】公共施設や観光拠点・スポットにおける情報通信環境の整備・維持管理				整備計画の策定		情報通信環境の整備・保守		
	2-(3)-②	【重複】ワーケーション施設などにおけるリモートワーク環境の整備					整備計画の策定および整備・保守			
伊平屋フェリーのオンライン予約・購入システムの構築	2-(4)-①	観光客向けオンライン予約・購入システムの強化			システム実装		保守・運用			
	2-(4)-②	住民向けオンライン予約・購入システムの充実			システム設計・実装		保守・運用			
	2-(4)-③	車両乗船のための予約・購入システムの構築			システム設計・実装		保守・運用			
観光関連データプラットフォームの構築	2-(5)-①	観光関連データプラットフォームの構築と利活用の促進				システム設計・実装		保守・運用		
スマート農林水産業化の支援	2-(6)-①	農林水産業におけるスマート化の奨励・支援			農林水産業におけるデジタル技術導入やデータ活用の支援					
新たなマーケティング手法の活用の推進	2-(7)-①	訪問客の隙間時間などを利用したマーケティング手法の検討			検討・検証（・推進）					
	2-(7)-②	新たなマーケティング手法に関するセミナーの提供			SNSなどを用いたマーケティングに関する勉強会の開催など					
観光産業を中心とした村内経済循環の活性化	2-(8)-①	観光を中心とした全産業DXの推進			DXによる産業全体の振興のビジョンの浸透と上記各施策の実施					
	2-(8)-②	観光スポットなどへの配送システムの検討			検討・検証（・推進）					

■ 取組 スケジュール【行政】

施策	取組ID	取組名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
行政手続きのオンライン化	3-(1)-①	オンライン行政手続きの整備と利用の促進			オンライン行政手続きの整備・拡充と周知・支援体制の整備	
	3-(1)-②	公金収納におけるeLTAXの活用の検討			情報収集	eLTAXの活用の検討
マイナンバーカードの普及および利用の推進	3-(2)-①	健康保険証廃止に伴うマイナンバーカードの普及と利用の推進	保険証廃止の周知とマイナンバーカードの普及と利用促進		マイナンバーカードの普及と利用促進	
	3-(2)-②	マイナンバーカードを利用するサービスの推進			マイナンバーカードを利用するサービスの拡充	
情報システムの標準化・共通化	3-(3)-①	標準準拠システムへの移行	システム移行準備 (職員研修を含む)		運用の継続的な改善	
業務プロセスのDXの推進とDX推進体制の構築	3-(4)-①	ペーパーレス化の推進			紙に基づく業務プロセスの見直しとペーパーレス化の範囲の拡大	
	3-(4)-②	業務プロセスのDXの推進			業務の調査・評価と再構築の検討・準備	業務プロセスの継続的な改善
	3-(4)-③	DX推進体制の構築			DX推進体制の構築	体制の継続的な改善
AIやICTの効果的な活用検討	3-(5)-①	利用者の利便性向上に向けたAIやICT活用の推進			AIやICT活用の検討・検証・導入・活用	
テレワークの推進	3-(6)-①	テレワーク環境の整備			テレワーク環境の整備計画の策定	テレワーク環境の整備
データ活用の推進	3-(7)-①	ウェルビーイング（地域幸福度）指標に基づくDXの推進			調査方法の検討	調査の実施・DX推進計画への反映
	3-(7)-②	村役場が所有する各種データの整備			所有データの棚卸・整理	所有データの整備
	3-(7)-③	オープンデータの整備			オープンデータの拡充	

■ 取組 スケジュール【行政】（つづき）

施策	取組ID	取組名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
セキュリティ対策の徹底	3-(8)-①	情報セキュリティ体制の強化			CSIRTの体制強化と情報セキュリティ監査の実施	
	3-(8)-②	情報セキュリティと個人情報保護の徹底に向けた職員研修の実施	情報セキュリティと個人情報保護の徹底に向けた職員研修の実施			
	3-(8)-③	業務継続計画の適宜見直し	業務継続計画の適宜見直し			
誰一人取り残さない デジタル技術活用の推進	3-(9)-①	デジタル機器・サービスの利用法を学ぶ 機会の提供	スマートフォン教室やリモートワーク体験会など体験型の勉強会の実施			
	3-(9)-②	デジタル活用サポーターの設置				デジタル活用サポーターの設置・支援の実施

■ 取組 スケジュール【地域】

施策	取組ID	取組名	令和6年度		令和7年度		令和8年度	令和9年度
情報通信基盤の強化	4-(1)-①	全島にわたる高速通信網の整備についての検討			現状調査・整備計画の策定		情報通信網の整備・保守	
	4-(1)-②	【重複】公共施設や観光拠点・スポットにおける情報通信環境の整備・維持管理			整備計画の策定		情報通信網の整備・保守	
	4-(1)-③	【重複】ワーケーション施設などにおけるリモートワーク環境の整備				整備計画の策定および整備・保守		
ライドシェア導入の検討	4-(2)-①	持続可能なライドシェアサービスの検討			島内の移動需要の調査、サービス内容についての検討			
伊平屋村の魅力を伝える 情報発信体制の強化	4-(3)-①	地域情報発信チームの強化			地域情報発信チームの強化			
	4-(3)-②	ターゲットを想定した戦略的な情報発信			ターゲットとなる人物像と情報発信方法の継続的な改善			
区民活動のデジタル化の促進	4-(4)-①	区民の交流と連携を促進する連絡網の構築			連絡網の検討	連絡網の整備・利用促進		
デジタル人材の育成・確保	4-(5)-①	住民や事業者のデジタルリテラシーの向上			デジタルリテラシーの向上に向けたセミナー・勉強会の開催			
	4-(5)-②	村役場におけるデジタル人材の育成・確保			デジタル人材育成のための職員研修の実施・外部人材の確保			